

株式会社ステムセル研究所

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2025年11月12日

01 – 決算概況

02 – 成長戦略

決算概況

1 株主優待制度の新規導入

これまでの**安定した業績推移**と**健全な財務基盤**を踏まえ、株主の皆様への還元を一層充実させるため、2026年3月末を基準日として株主優待制度を新たに導入。今後も、事業成長に向けた積極的な投資を継続しつつ、**株主還元の拡充を図る**。

優待内容

デジタルギフト

3,000 円分
(利回り約**3.7%**※)

基準日

3 月 31 日

保有株式数

100 株(1単位)以上

※11月11日終値ベース

2 連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表

子会社2社の事業本格化に伴い、業績への寄与が拡大することを踏まえ、当中間連結会計期間より連結決算に移行

▶ STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.(2024年11月設立)

シンガポールを中心に東南アジア市場でのさい帯・さい帯血保管事業を展開。2025年7月にインドネシア最大級のコングロマリット「シナルマスグループ」創業家のファミリーオフィスと戦略的合併契約を締結し、同年8月に共同で増資を実施。

▶ 株式会社ミルケア(2022年7月「株式取得」により子会社化)

当社のさい帯保管者向けに「ファミリー上清」製造サービスを提供。新プラン「HOPECELL」の導入によりさい帯の保管者数が増加したことで、「ファミリー上清」製造サービスの申込件数も順調に拡大。

今後は、当社グループのインフラおよびネットワークを活用し、周辺事業領域での新たな展開も推進。

2026年3月期 通期連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	3,000百万円	450百万円	450百万円	320百万円	31円46銭

※STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.では、シンガポール事業の立ち上げに伴うコストが発生する見込みですが、当該コストは期初の業績予想において当社単体での発生を見込んでおりました。

そのため、今回の連結移行による数値への影響は軽微であり、通期の連結業績予想については直近の個別業績予想と同額となります。

3 事業成長に向けた重点施策

国内年間保管数20,000検体に向けた取り組み強化

- ▶ WEB広告の最適化および協力産科施設との連携強化を通じ、**認知拡大と契約促進を推進**。
またPR活動を強化し、当社保管者の「脳性まひの長男にきょうだいのさい帯血を投与したストーリー」が**地方紙や地方テレビ**でも取り上げられるなど注目を集めた。
- ▶ さい帯由来「ファミリー上清」製造サービスの認知向上と普及促進により、**申込数・投与数が増加傾向**。
投与可能な**提携クリニックの拡大**にも注力しており、**全国的な提供体制の整備**を進行中。
- ▶ 小児脳性まひや自閉症スペクトラム障害(ASD)など既存の臨床研究を継続して実施中。ASDに対する臨床研究は**第1例目の投与が行われた**。**自由診療領域**での**細胞・培養上清(エクソソーム)**の利活用も継続して推進中。

東南アジア(SEA)市場における海外展開の進展

- ▶ シンガポール子会社において責任者および専門スタッフの採用を進行中。
マーケティングおよび細胞加工技術の両面で**高い専門性を有する組織体制**を整備。
- ▶ **CPCを建設する物件の賃貸契約が完了**し、設備設計を進めるとともに、
事業開始に必要なシンガポール保健省(MOH)への認可申請に向けて準備中。

関連する事業領域における将来性のある分野への投資・連携

- ▶ (株)iPSポータルと**臍帯血を用いた自家iPS細胞の製造・保管プロセス開発**および**臨床応用**に向けた検討を開始。

（単位：百万円）

	2025/03期 2 Q(単体)	構成比	2026/03期 2 Q(連結)	構成比	対前期 増減額	対前期 増減率
売 上 高	1,373	100.0%	1,415	100.0%	+41	+3.0%
売上総利益	881	64.2%	871	61.6%	△10	△1.1%
販売費及び 一般管理費	623	45.4%	741	52.4%	+117	+18.8%
営 業 利 益	258	18.8%	130	9.2%	△127	△49.5%
営業外損益	6	0.4%	6	0.4%	+0	+5.6%
経 常 利 益	264	19.2%	136	9.7%	△127	△48.2%
特 別 損 益	136	10.0%	0	0.0%	△136	△99.7%
税引前 当期純利益	401	29.2%	137	9.7%	△263	△65.8%
当期純利益	271	19.8%	84	6.0%	△187	△68.8%

売上高
過去最高

※当第 2 四半期(7 月～9 月)も第 1 四半期に
引き続き、四半期として過去最高

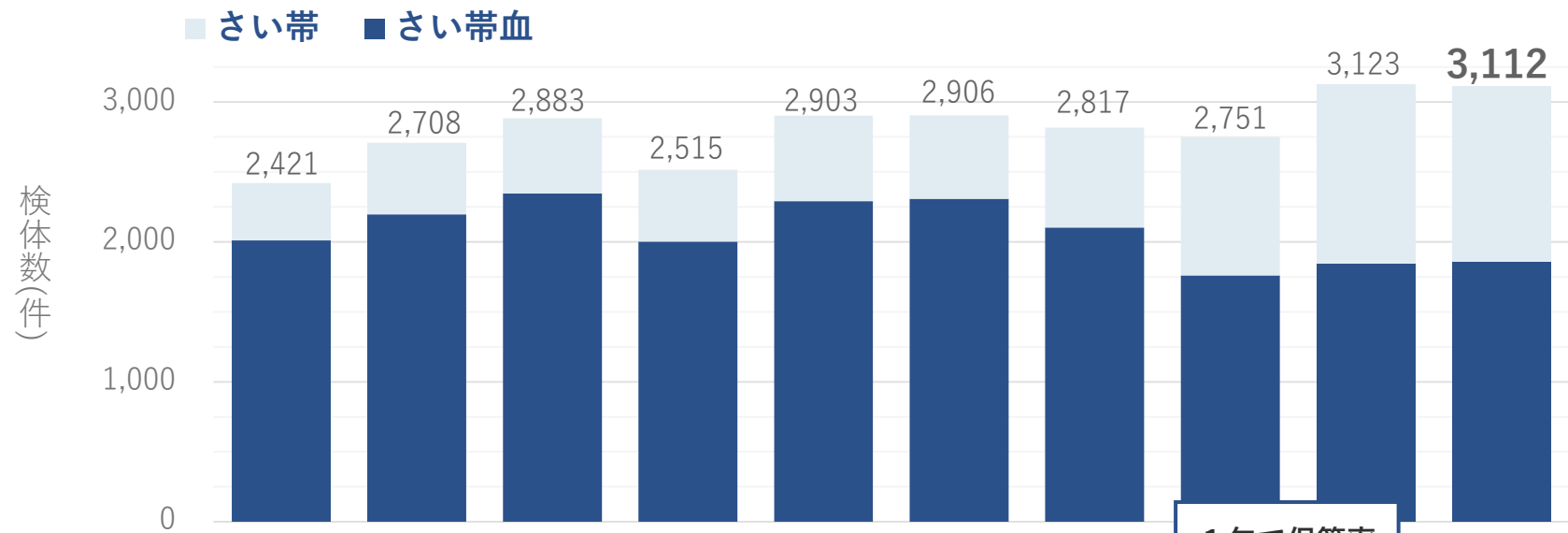
営業利益

原材料費の価格上昇の他、**中期的な
成長に向けた先行投資**によるコスト増
(先行投資 内訳)

- ・ 経営体制強化に伴う人員増
- ・ マーケティング活動強化
- ・ シンガポール事業の立ち上げコスト等

当期純利益

前期において株式売却特別利益を
計上したことによるもの

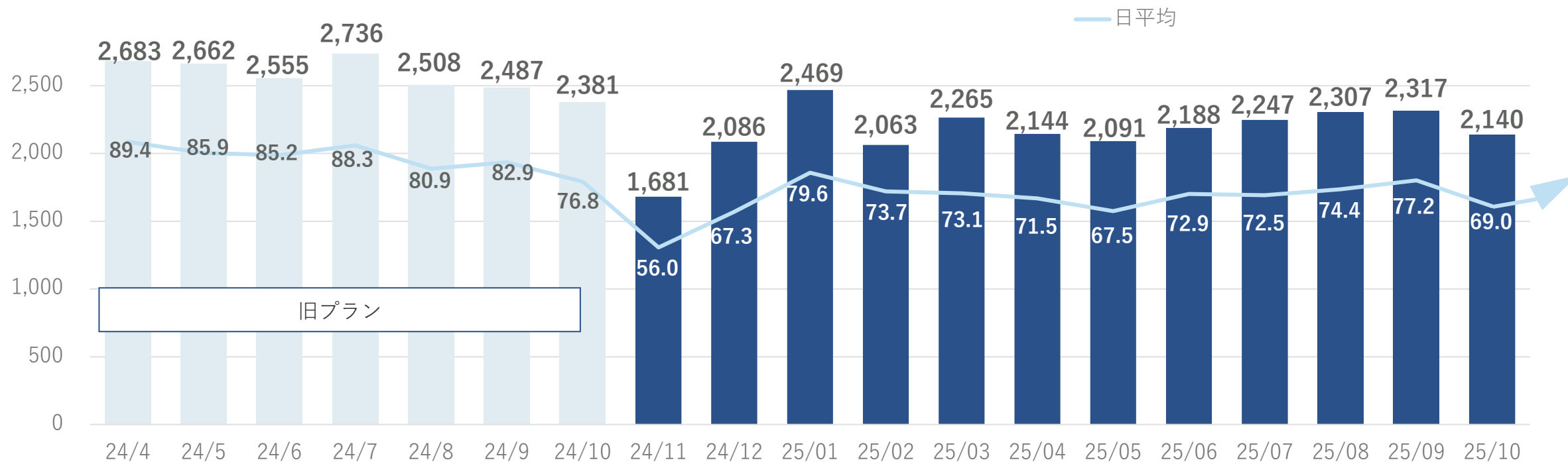


培養上清製造 サービス開始	2024/03期				2025/03期				2026/03期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
さい帯血 保管 検体数(件)	2,011	2,198	2,347	2,003	2,291	2,309	2,103	1,761	1,843	1,856
	合計	8,559 (対前期比 +13.2%)			合計	8,464 (対前期比 △1.1%)			合計	3,699 (対前期比 △19.6%)
さい帯 保管 検体数(件)	410	510	536	512	612	597	714	990	1,280	1,256
	合計	1,968 (対前期比 +43.8%)			合計	2,913 (対前期比+ 48.0%)			合計	2,536 (対前期比 +109.8%)
さい帯保管率 (さい帯÷ さい帯血)	20.4%	23.2%	22.8%	25.6%	26.7%	25.9%	34.0%	56.2%	69.5%	67.7%

- ▶ 資料請求数の伸び悩み
および9月の一時的な
成約率低下
- ▶ 現在、施設・WEB・
対面の3本柱による
チャネル戦略を再構築中
であり、各チャネルの
集客導線・訴求力の強化
を進めることで、下期に
おける検体獲得ペースの
早期回復を図る

資料請求数

※該当月に当社サービスに興味を持ち、資料を請求した見込み顧客の総数



Meta広告アカウントが凍結、
約 3 週間にわたり広告配信が停止

新プラン「HOPECELL」ローンチ、
新コンセプトで訴求するも不調

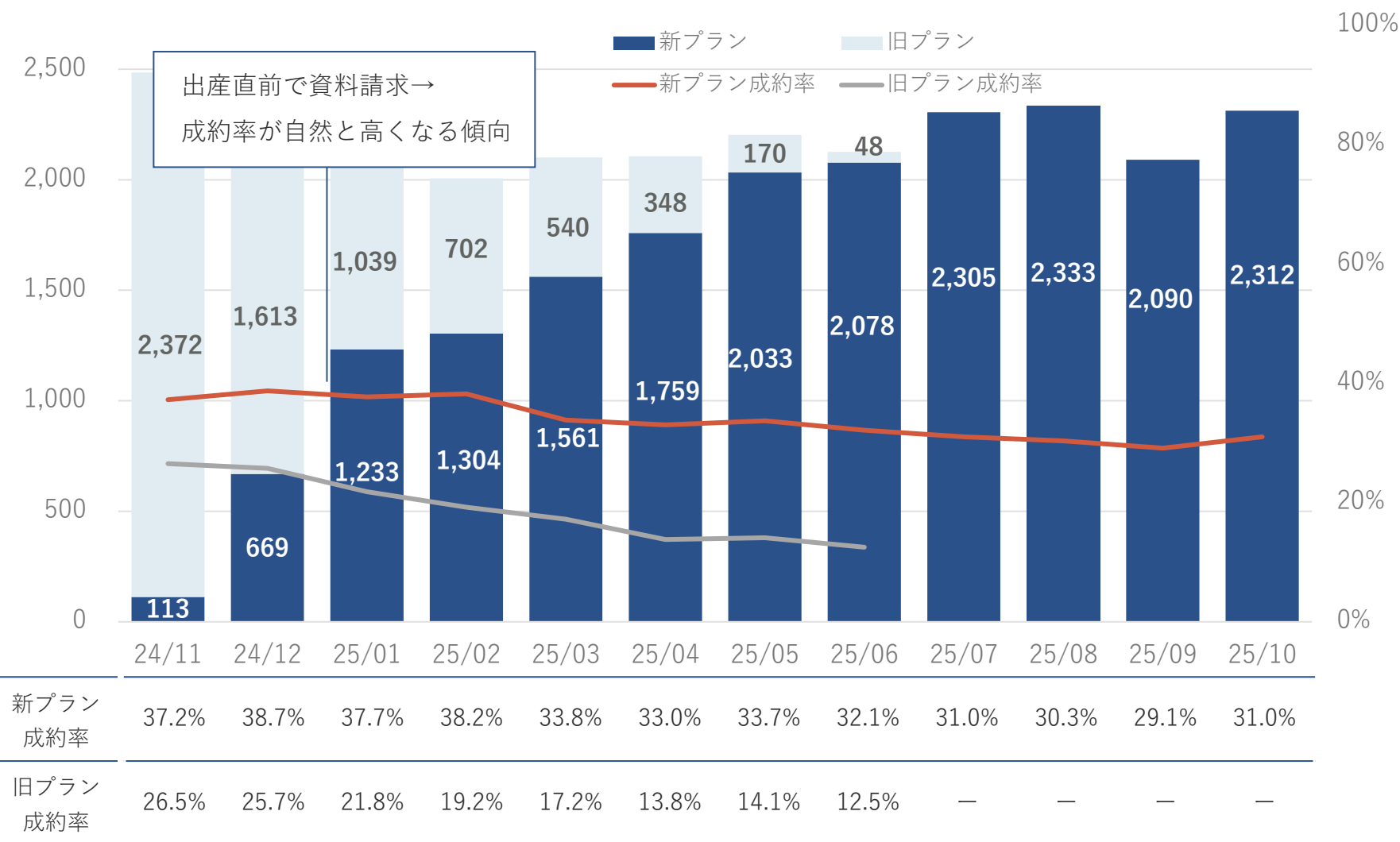
訴求点の全面見直し

広告代理店の変更、
マーケティングの再構築

目標2,500件に向けて
施設・WEB・対面の
3チャンネル戦略を推進中

各月の出産予定者数と成約率

※該当月に 出産予定日を迎える契約検討中または既契約の顧客の総数



- ▶ 今回より、保管対象外となる検体を除外し、実際の保管数に基づいて成約率を算出
- ▶ 9月は出産予定者数および成約率が一時的に想定を下回ったものの、**10月は改善傾向**
要因を検証しながら、成約率向上に向けた**改善策の実施**を進行中

成長戦略

中期成長戦略の 3 つの柱

1



国内基盤強化

年間保管数
20,000検体

2



グローバル展開

シンガポールを軸に
東南アジアへ

3



新規事業開発

関連する事業への
投資・連携

新たな「対面チャネル」を加えたマーケティング戦略の強化

1 医療機関連携チャネル（協力産科施設・母親学級スピーチ）

- ▶ 協力産科施設で行われる母親学級での当社スピーチ機会を拡大し、**信頼性の高いリード創出**を強化。
- ▶ **協力産科施設の協力ランク※引き上げ**と連携強化を再徹底。これまでの施策を再度強化し、施設ごとの支援・フォロー体制の見直しを実施。

※協力ランク＝採取件数・紹介件数などを基にした当社の段階評価

2 WEBチャネル（広告・インフルエンサー施策）

- ▶ WEB広告のクリエイティブ・LP最適化を継続し、CPAと資料請求数を改善。
- ▶ SNS・記事コンテンツ・インフルエンサー施策による**認知拡大とブランド浸透**を強化。

3 対面チャネル（イベント・セミナー）※新たに強化

- ▶ マタニティ＆ベビーフェスタ(大阪)、マタニティファミリーフェスティバル(水天宮)に出展し、ステージイベントは**満席となる盛況を記録**。リアル接点を通じて高い関心を獲得。
- ▶ 対面型施策では、WEB広告を上回る高品質リードを創出できる見込みであり、リアルイベントを重要なマーケティングチャネルとして位置づけ、**今後は全国規模での出展拡大を推進**。



10/25 マタニティ＆ベビーフェスタでの
当社ステージイベント

シンガポール・インドネシアを軸とした 細胞バンク事業の市場ポテンシャル



年間出生数 ※人口と出生率より当社推計

インドネシア : 約450万人
(ジャカルタ)* : (約30万人)
シンガポール : 約3万人

- ▶ シンガポール子会社 STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD. において人材採用およびCPC(Cell Processing Center) 設立準備など**現地体制の整備**を進行中
- ▶ 将来的には周産期・再生医療関連領域への拡大も視野に、**日本国内同等以上の事業規模**を目指す



STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD. オフィス内観

3～5年後の**将来的な収益性**を読み取るKPI

- ▶ シンガポール：約1,200人/年 ジャカルタ：約900人/年
3万人（シンガポール出生数）× 20%（全体保管率）× 20%（目標シェア）
30万人（ジャカルタ出生数）× 1%（全体保管率）× 30%（目標シェア）
- ▶ シンガポールでは21年保管のサービス料金は**約7,000SGD（約80万円）**

現地拠点整備の進捗および事業開始タイムライン（現時点の予定）

Photo courtesy of Mapletree Industrial Trust

事業開始に向けた現地拠点整備の進捗（2025年10月末時点）

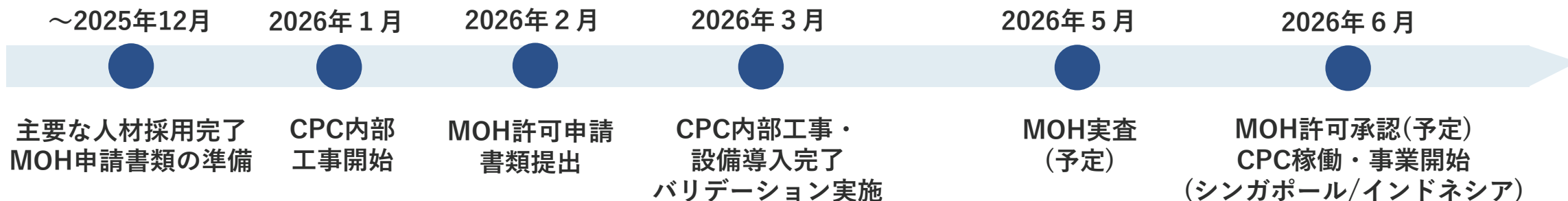
- ▶ 責任者・スタッフの採用は順調に進行中。マーケティングおよび細胞加工技術の両面で**高い専門性を有する組織体制**を整備。
- ▶ **CPC建設物件契約済**。設備設計および許認可申請準備を進行中。
- ▶ インドネシア(ジャカルタ)との同時事業開始を見据え、**現地パートナーとの協業体制構築および展開準備**を進行中。



CPC建設予定の物件「Mapletree Hi-Tech Park」の外観

今後のタイムライン

事業開始には**シンガポール保健省(MOH)の認可**が必要であり、品質・法令遵守を最優先に**2027年3月期第1四半期**の事業開始を目指す



- 本資料は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
これらは、現在における予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
それらのリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済情勢が含まれております。
- 本資料の当社以外に関する情報は、一般的に公知と考えられるものに基づいております。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の勧誘行為を行うためのものではありません。

株式会社ステムセル研究所